

D-project 春の公開研究会2022 in 金沢

クリエイティブな授業をつくる ～「楽しさ」からはじまる新たな学び～

2022年3月26日（土） 13:00～16:15

オンライン開催（Zoom）・無料



13:00 Opening：水谷浩三

13:05 Keynote：中川一史 「授業を創る 学びを創る」

13:25 Practice & Workshop ※詳細は次ページ

- ①D-proのプロジェクトに参加して授業力UP！
- ②クリエイティブな学びを育む授業をつくる～Everyone Can Create～
- ③作ってみようPBL型授業
- ④前半：パラパラマンガを作ろう！～クレイアニメ体験～
後半：フォト俳句で 俳句の読みを伝え合おう！
- ⑤クリエイティブ・フィールドの構築
～子供も大人もワクワクする金沢市の新たな取り組み～

14:55 PR & Break time

15:15 Discussion：小林祐紀・前田康裕・中橋 雄
「“創造”から考えるこれからの授業」

16:05 Closing：豊田充崇

参加申し込みはこちら

3/22までにお申し込みください

お問い合わせ：haruchima7122@gmail.com（実行委員会・山口）



Practice & Workshop

WS① D-proのプロジェクトに参加して授業力UP！（佐藤幸江・菊地 寛）

教師の学びは、よきコミュニティから生まれると言われています。D-proには、いくつもの面白いプロジェクトがあります。そして、そのプロジェクトは、参加する先生方の主体的な関わりによって形成されていきます。今回は2つのプロジェクトを取り上げ、そこに参加した先生がどのようにコミュニティに関わり、何を学んだのか、体験談を語ります。ぜひ参会の皆さんとよりよいコミュニティの形成と教師の成長について考えていきたいと思えます。

WS② クリエイティブな学びを育む授業をつくる～Everyone Can Create～

（山中昭岳・反田 任・稲田健実・中村純一）

Appleのあらゆる教科に取り入れることができる表現プログラムEveryone Can Createから「動画」「音楽」「写真」のどれか一つを選んで実際に体験していただきます。3名のADE（Apple Distinguished Educator）の先生方による「クリエイティブな学びを育む授業づくり」の極意について、参加者も踏まえたトークセッションを予定しています。

※Zoomのコミュニケーション以外に、演習でiPadを活用しますのでご準備ください。

WS③ 作ってみようPBL型授業（岩崎有朋） *定員15名

学習者が自ら問題発見・解決したり情報活用する授業を作りたければ、ぜひPBL型授業に取り組んでみませんか。基本的なPBLのフレームを学び、1つ実際に単元をPBL型で作ってみます。1つの教科でも、教科横断でも、総合的な学習でもなんでもOK。作ってみたい教科の教科書や資料を手元に準備して、一緒に段階を追って作ってみましょう。そして、令和4年度に実践して、振り返り、改善し、実践力に磨きをかけてみませんか？（アフターフォロー付き）

WS④

前半 パラパラマンガを作ろう！～クレイアアニメ体験～（山本直樹）

クレイアアニメーション、いわゆるパラパラマンガです。タブレットの登場でとても簡単に組みあがるようになりました。D-projectでは2019年度よりクレイアアニメプロジェクトがスタートしました。学習で学んだこと、学校生活の思い出などをテーマにして、子どもたちがアニメーション制作に挑戦してきました。このセッションでは実際の児童作品を鑑賞したあと、短いアニメーションを作っていただきます。メディア創造力を育む過程を子どもの視点でぜひご体験ください！

後半 フォト俳句で 俳句の読みを伝え合おう！（石田年保）

言葉と映像を組み合わせた「マルチモーダル・テキスト」は、身の回りにたくさんあります。このWSでは、俳句に写真を組み合わせたフォト俳句作りを行います。それぞれが創作したフォト俳句の鑑賞会を通して、言葉に写真を組み合わせることの意味やよさについて、みんなで考えていきたいと思えます。俳句なんて作ることができないと、心配されている先生がいるかもしれません。安心してください。俳句はこちらで準備しておきます^^

WS⑤ クリエイティブ・フィールドの構築

～子供も大人もワクワクする金沢市の新たな取り組み～（福田 晃）

金沢市では子供の独創力を育成し、未来で活躍する人材の輩出の場として、官民連携型の価値創造拠点施設「未来のまち創造館」を設立しました。そのフロアにVIVISTOP KANAZAWAがあり、子供の好奇心がもつ可能性をもとに、これまでにない新しい学びの場が構築されています。D-projectがこれまで大事にしてきた要素とも大いに重複があるため、当日は未来のまち創造館で繰り広げられている取り組みを知る中で、あらためてD-projectの本質に目を向けていきます。

Discussion

鼎談 「創造」から考えるこれからの授業（小林祐紀・前田康裕・中橋 雄）

本大会テーマのキーワード「クリエイティブ（創造的）な授業」とは、「ものづくり」だけにとどまらず、学びの探究化によってもたらされる「価値創造」も含まれます。さらにはGIGAスクール構想のねらいにも「創造性を育む学びを実現する」と示されているところです。したがって、授業者の視点に立てば、今後ますます授業を「創造」する力が私たちには求められるといえるでしょう。そこで、最後のセッションとなる鼎談では、副会長のお二人に登壇いただき、「創造」をキーワードに、授業づくりに必要な視点や具体的な事例、教師の職能開発のあり方、教員集団の成長プロセス等、多様な視点から議論していきたいと考えております。